

教 科	地理歴史	単位数	2	学科・学年	全学科群・1年
使用教科書	「地理総合 世界に学び地域へつなぐ」(二宮書店) 地歴高等地図(帝国書院)				
副教材等	世界の諸地域NOW2024(帝国書院) 地理総合ワークブック(二宮書店) プリント等				

1 学習の到達目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ちグローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

2 科目の特色

- ・地理的な観点から全世界を見渡し、現代世界について学習を進めていきます。
- ・地図帳・副教材を活用して、多方面から世界を学習します。
- ・地図・グラフなどを読みとる、自分で描くなどの作業学習を行いながら理解を深めます。

3 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

	学 習 内 容	主 な 学 習 活 動 (指 導 内 容)
一 学 期	第1章 地図とGISの活用 1 球面上の世界 2 日本の位置と領域 3 国内や国家間の結びつき 4 暮らしのなかの地図とGIS 第2章 地理的環境の特色 1 地形と生活文化 2 気候と生活文化 3 産業と生活文化 4 宗教・言語と生活文化	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の運動、時差、図法、日本の領域などを学習する。 ・世界や日本の地形を学習し、読図技能を身につける。 ・身近な国際観光から世界を見渡し、国際化を考える。 ・情報、通信、交通、貿易を通して、国家間結合を理解する。 ・世界の人々の多様化を、地理的環境に関連させて学ぶ。 ・気候のしくみや気候区分を理解し、分析の力を養う。 ・環境と産業の関係を考え、産業発展の地域性を考える。 ・世界の民族を把握し、その文化の主たる宗教、言語などの地理的な広がりを理解する。
二 学 期	第3章 世界各地の生活文化 1 経済発展と生活文化の変化 2 宗教の多様性と生活文化 3 水の恵みと生活文化 4 イスラーム社会の多様性と生活文化 5 多様な気候と生活文化～アフリカ 6 経済統合による生活文化の変化 7 寒冷な気候と生活文化 8 グローバル化による生活文化の変化 9 土地の開発による生活文化の形成 10 植民と移民による生活文化の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・世界を10のカテゴリー(東アジア・ASEAN諸国・南アジア・イスラーム圏・アフリカ・EUと周辺諸国・ロシア・アメリカ、カナダ・ラテンアメリカ・オセアニア)に分け、それぞれの地域の自然環境による生活のあり方や産業の発達を考察する。
三 学 期	第4章 地球的課題と国際協力 1 地球環境問題 2 資源・エネルギー問題 3 人口・食料問題 4 居住・都市問題 第5章 生活圏の諸課題 1 日本の自然環境と防災 2 生活圏の諸課題と地域調査	<ul style="list-style-type: none"> ・世界中の人々が直面している共通の地理的な課題について、理解を深め解決する方法を考察していく。 ・身の回りにある地図の利用法を考える。 ・日本の地形・気候の特徴から防災について考察する。

4 課題、提出物等

- ・学習の区切りに授業ノート・プリントを提出します。
- ・与えられた課題プリントや課題レポートを提出します。

5 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代世界の地理的特色が理解できており、調査資料から様々な情報を適切に調べまとめているかどうかを判断し、定期考査・課題考査で評価します。	地理に関わる事柄の意味や意義を考え、説明することができているかどうかを判断し、定期考査・課題考査で評価します。	近現代の歴史の変化に関わる事柄について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に解決しようとしているかを判断し、提出物・授業態度で評価します。

令和6年度シラバス

公 共

教 科	公民	単位数	2	学科・学年	全学科・2年
使用教科書	公共 (実教出版)				
副教材等	ニュービジョン公共(浜島書店) 公共演習ノート(実況出版) プリント等				

1 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・現代の社会と人間についての理解を多角的な視野に立って深める。 ・現代社会の基本的な問題について主体的に考え、公正に判断できる基礎力を養う。

2 科目の特色

<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の身近なテーマを題材に各自の思考力や表現力を養います。 ・現代社会の基本的な問題と人間に関わる課題を、広い視野にたつて多角的に考えることができるよう世界や日本の具体的な教材を取り扱います。
--

3 学習の計画 (どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

	学 習 内 容	主 な 学 習 活 動 (指 導 内 容)
一 学 期	第1部 公共の扉 第1章 社会を作る私たち 第2章 人間としてよく生きる 第3章 他者ととともに生きる 第4章 民主社会の倫理 第5章 民主国家における基本原理	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の発達課題と「よりよく生きる」ことについて学習する。 ・現在の民主主義の成立過程について学習する。 ・現在の民主主義を支える基本
二 学 期	第2部 よりよい社会形成に参加する私たち 1 現代の民主政治と日本国憲法 第1章 日本国憲法の基本的性格 第2章 日本の政治機構と政治参加 2 現代の経済社会と国民生活 第1章 現代の経済社会 第2章 日本経済の特質と国民生活	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の成立過程とその基本原理について学習する。 ・自由権・平等権・社会権等の基本的人権と新しい人権について学習する。 ・今日の社会問題や防衛問題について考える。 ・経済思想と市場の仕組みについて学習する。 ・金融政策と財政政策の在り方について考える。 ・日本経済の歩みについて学習する。
三 学 期	3 国際社会と人類の課題 第1章 国際政治の動向と課題 第2章 国際経済の動向と課題 第3部 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の国際社会と国際政治について学習する。 ・人種問題・国際紛争・貿易摩擦・格差問題などの国際問題について考える。 ・環境問題などの現在の諸問題に関して考える。

4 課題、提出物等

<ul style="list-style-type: none"> ・学習の区切りに授業ノート・プリントを提出します。 ・与えられた課題プリントや課題レポートを提出します。

5 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
政治・経済・倫理などに関わる現代の問題について理解し、資料から様々な情報を適切にまとめているかで判断し、定期考査・課題考査で評価します。	現代の様々な課題の解決に向けて公正に判断し、構想したことをまとめているかで判断し、定期考査・課題考査で評価します。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現に向けて、主体的に解決しようとしているかで判断し、提出物・授業態度で評価します。

教科	地理歴史	単位数	2	学科・学年	全学科・3年
使用教科書	歴史総合 (実教出版)				
副教材等	・新詳歴史総合(浜島書店) ・歴史総合演習ノート(実教出版) ・プリント等				

1 学習の到達目標

・社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を迫及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有意な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

2 科目の特色

・世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉えて、近現代の歴史を理解する科目です。
 ・歴史の大きな転換に着目し、本質的な問いを設け、歴史的な見方・考え方をを用いて考察する科目です。

3 学習の計画 (どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

	学 習 内 容	主 な 学 習 活 動 (指 導 内 容)
一 学 期	第1編 近代化と私たち 第1章 近代化への胎動 第2章 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 第3章 欧米諸国と日本の国民国家形成 第4章 帝国主義の時代	・17世紀以前のアジア諸国と、ヨーロッパ諸国の海外での動きを学習する。 ・江戸時代の日本列島の様子を、対外関係の視点から考察する。 ・19世紀の国際秩序の成立過程を学習する。 ・欧米諸国は、なぜ帝国主義政策を推し進めたのかを考察する。
二 学 期	第2編 国際秩序の変化や大衆社会化と私たち 第5章 第一次世界大戦と大衆社会 第6章 経済危機と第二次世界大戦	・20世紀の国際関係がどのように変化したのかを考察する。 ・第一次世界大戦は、なぜ世界をまきこむ戦争となったのかを考察する。 ・大戦後の国際秩序はどのような目的で構築されたのかを学習する。 ・世界恐慌は各国の経済や人々の生活にどのような影響を与えたのかを考察する。 ・ヨーロッパでの戦いと、アジアの戦争がどのように結びついたのかを学習する。
三 学 期	第3編 第7章 冷戦と脱植民地化 第8章 多極化する世界 第9章 グローバル化と現代世界	・旧植民地がどのように独立をはたしていったのかを学習する。 ・米ソ両国が影響力を弱めていった理由を理解する。 ・石油危機以後の世界はどのような変化をみせたのかを考察する。 ・グローバル化がすすむなかで、各国はどのような動きをみせたのかを学習する。

4 課題、提出物等

・学習の区切りに授業ノート・プリントを提出します。
 ・与えられた課題プリントや課題レポートを提出します。

5 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
近現代の歴史が理解できており、資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめているかどうかを判断し、定期考査・課題考査で評価します。	近現代の歴史に関わる事柄の意味や意義を考え、説明することができているかを判断し、定期考査・課題考査で評価します。	地理に関わる事象について、国家の形成者としてよりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に解決しようとしているかを判断し、提出物・授業態度で評価します。